



# やまがた被害者支援センター だより

YAMAGATA Victim Support Center

令和4年8月発行

第33号

## ～地域社会で支える被害者支援への思い～

山形県警察本部警務部長 植木 百合子



公益社団法人やまがた被害者支援センターの皆様におかれましては、日頃より犯罪被害者支援にご尽力いただき、深く敬意を表します。また、警察業務に各般にわたりご支援・ご協力を賜り、改めて感謝を申し上げます。

本県では、平成22年3月に施行された「山形県犯罪被害者等支援条例」に基づき「第三次山形県犯罪被害者等支援推進計画」を策定し、自治体及び関係機関・団体等が連携のうえ各種施策を総合的かつ計画的に推進し、犯罪被害者等への支援や広報啓発活動に努めているところです。

貴センターには、電話や面接による相談対応や裁判所への付添い等のきめ細かな支援を実施していただいているほか、被害者支援に対する県民の理解の浸透にも尽力をいただいております。

また、平成28年度から事業を開始した「やまがた性暴力被害者サポートセンター」につきましても、相談体制を強化のうえ継続展開していただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、我が国では情報化社会が進展する一方、全国的にサイバー空間を舞台にした犯罪の発生やSNS利用による誹謗中傷などが社会問題化し、犯罪被害者等支援についても多様な対応が求められています。

貴センターではそのような情勢に対応し、昨年度は、SNS利用に起因する子どもの性被害防止の広報啓発にも重点的に取り組まれるなど時代を反映した活動を行っていただきました。

さらに、自治体における支援の充実を図るため、犯罪被害者等の支援に特化した条例の制定に向けて市町村に対する働きかけや研修会の開催等にも積極的に取り組み、本県では南陽市と山形市において条例が制定されました。

このような条例が、地域住民の身近に存在し日頃から住民サービスを提供している市町村において制定されることは極めて意義深いものであります。

犯罪被害者等が直面している困難な状況は多岐にわたり、それらのニーズに適切に対応するためには、行政機関、民間支援団体、事業者、県民等が相互に連携・協力のうえ、地域で犯罪被害者やその家族等を支えなければなりません。

被害者支援体制のさらなる強化を図りながら能動的に支援の手を差し伸べる必要があります。

県警察としましては、他の市町村において犯罪被害者等支援への実効的施策が盛り込まれた条例の制定が広がるよう情報提供等により協力してまいります。

最後になりますが、県公安委員会指定の「犯罪被害者等早期援助団体」でもあるやまがた被害者支援センターが、様々な関係機関との連携の要となり、より質の高い支援活動を展開していただくことを期待するとともに、今後益々のご発展とご活躍を祈念いたします。

**電話相談** 秘密は厳守いたしますので、一人で悩まずお電話ください。

〈やまがた被害者支援センター〉

相談電話番号 **023-642-7830**

月曜日から金曜日(10:00～16:00)

庄内出張相談所

相談電話番号 **0234-43-0783**

毎週水曜日(10:00～16:00)

■相談は無料です。(通話料はかかります)

やまがた性暴力被害者サポートセンター「べにサポ やまがた」

相談電話番号 **023-665-0500**

月曜日から金曜日(10:00～19:00)

※上記以外の時間は、国の夜間休日対応コールセンターにつながり、24時間365日、相談を受け付けます。

〈性暴力被害相談〉全国共通短縮ダイヤル

は や く ワン(ストップ支援センターへ)

短縮ダイヤル **#8891**

**メール相談**

やまがた被害者支援センター及びやまがた性暴力被害者サポートセンターのホームページ内のメールフォームよりご相談いただけます。

## 令和4年度定時総会・講演会開催

公益社団法人やまがた被害者支援センター（理事長・黒澤洋介）の定時総会と講演会が6月2日、山形市の山形国際交流プラザで開かれ、「相談・支援活動の充実強化」など本年度の重点推進事項を了承しました。

総会に先立ち、当支援センターで永年にわたり活動された3名の犯罪被害者相談員に、黒澤理事長から「賞状」が授与され、その功労が顕彰されました。

総会は、3年ぶりに多数のご来賓などが出席し、黒澤理事長が、「当センターへの相談件数は前年度比で増加し、性犯罪に関する相談は過去最多を記録している。被害者がどこにいても、いつでも求める支援が受けられ、被害者の声に応じられる活動を推進するために、関係機関・団体との連携、とりわけ最も身近な存在で多くの行政サービスを提供する市町村の支援が重要なポイントとなっている。県内市町村における被害者支援に特化した条例制定に基づく支援体制の整備は2市のみであり、この度、山形市役所担当者から「市町村条例の必要性」に関する講演をいただくことで条例制定の機運が一層高まることを期待している。ほかに本年度は、急性期の性被害相談に夜間・休日も緊急的な対応をする新たな取組み（オンコール対応）も含めて、被害者支援の最前線としての活動に努力していく」と挨拶しました。

続いて来賓の、

山形県知事（代理 防災くらし安心部次長 高橋 徹氏）

山形県議会議長（議会開会中につきメッセージ対応）

山形県警察本部長（丸山 彰久氏）

から、「犯罪被害者がおかれている状況に対する県民の理解と関心を深め、支援の輪を広げていくことが重要であり、被害者支援センターには被害者支援の牽引役として、引き続き柔軟できめ細やかな対応を期待する」との祝辞をいただきました。

議事では、昨年度の事業として、被害者支援に特化した条例制定に向けた市町村への働きかけを積極的に行ったことのほかに、全国的に増加しているSNS利用による子どもの性被害を防ぐことをテーマとした「犯罪被害者支援県民のつどい2021」の開催や、メール相談を新たに設けるなど当センターのホームページの充実化を図ったことを報告しました。

続いて、昨年度の収支計算、新年度収支予算の第1次補正（案）、並びに当センターの事務局体制としてオンコール対応に伴う「統括補佐官」の新設と事務局長の交代などの各議案が原案どおり可決・承認されました。

次に、本年度の活動重点として、

### （1）相談・支援活動の充実強化

①夜間休日対応のコールセンター設置に伴い、緊急性が高いと判断される性被害等相談にオンコールで対応するため、緊急連絡体制の整備と医療機関との連携を構築する。

②支援相談員のスキルアップを図るため、毎月、テーマを設定したロールプレイを開催するほか、定期的にセンター通信を発行して情報の共有化に努める。

### （2）犯罪被害者支援に特化した市町村条例制定の促進

犯罪被害者等への質の高い支援を推進するため、各市町村が担っている被害者支援に有効な行政サービス等が効果的に利活用できるよう、引き続き、市町村における被害者支援に特化した条例制定の働き掛けに努める

ことを確認しました。



〈表彰〉



〈理事長あいさつ〉



## 【講演会】

総会の後、山形市の杉本肇市民生活部次長様から、「市町村における被害者支援と条例の役割」と題してご講演をいただきました。



〈講師〉

講師の杉本様は、県内全ての市町村が犯罪被害者の支援に特化した条例を制定して、地域の皆で犯罪被害者等を支えていこうと呼びかけることは社会の要請であると必要性を強く呼びかけました。その中で、条例の必要性の議論については、条例化のメリットとデメリットを検討したところ、メリットとしては「自治体の行政サービスを再確認することで実質サービスの向上が図られること」や、「庁舎内のみならず関係機関・団体とのネットワークが構築できること」など数多くの意見が出たが、逆にデメリットの声は無かったことで、条例化に踏み出すことができたと分かりやすく解説されました。

また、条例化により、従来の関係機関・団体と市町村の担当課の「ピンポイント単発型」の支援から、総合支援の窓口担当課が中心となり行政内部および他市町村等と連携する「総合・連携型」に転換することで被害者支援がより充実したものに進化することにつながると重要性を説きました。

続いて、県内で初めて遺族らへの見舞金支給による経済的支援を盛り込んだが、その財源は既存の基金を活用したことや、先行事例を参照とした条例化のテクニカルは決して難しくないことを紹介して理解を深めました。実際に条例制定に携わった責任者によるパワーポイントを使った分かりやすい今回の講演は、犯罪被害者が等しく途切れることのない支援を受けられるよう、限られた自治体が条例化をやるのではなく、県内すべてのまちで取り組み、社会全体への普及を目指そうという強いメッセージが十分に伝わったものとなりました。会場に出席の市町村のほか、オンラインで視聴した市町村の担当者からも積極的な問合せがあるなど条例化の理解を深めることができました。

杉本様からは、ご多忙の中、分かりやすく説得力のあるご講演をいただき、心から感謝と御礼を申し上げます。



〈市町村条例の必要性に耳を傾ける出席者〉

## 犯罪被害者支援に特化した市町村条例制定の促進に関する取り組み

犯罪被害者がどこに住んでいてもニーズに合う中・長期的な支援が途切れることなく受けられる環境づくりを進めるため、県内自治体による被害者支援の条例制定の促進に向けた勉強会が各地で開催されているほか、各警察署の被害者支援情報ネットワークでの講話等を実施しております。また、地域ぐるみの被害者支援を実現するため、マスコミによる広報活動にも努めております。

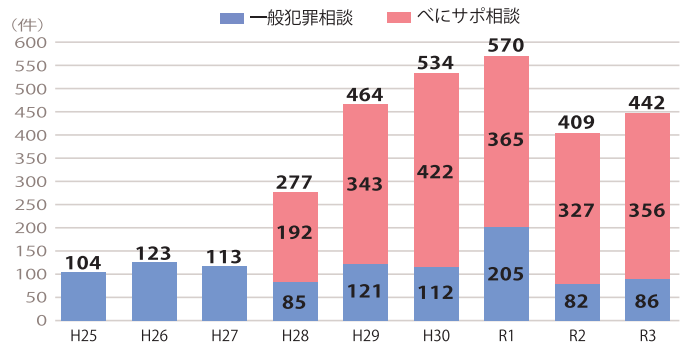


# 令和3年度における相談受理および直接支援の活動状況

令和3年度の当センターにおける相談受理件数は442件で前年度に比べ33件増加しております。その中で、性犯罪に関する相談が181件で過去最多となっております。

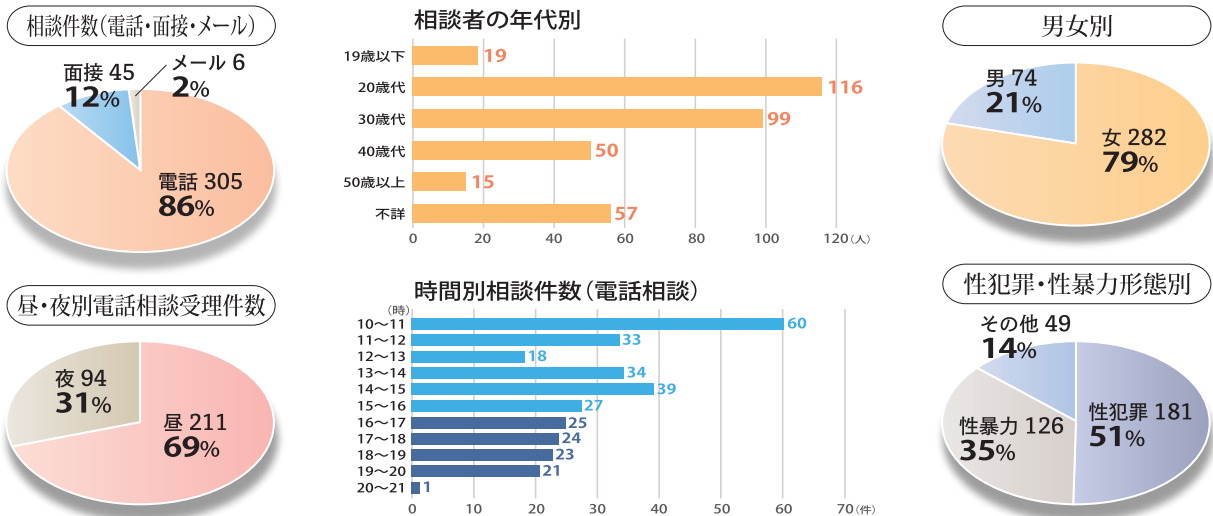
(注:「べにサポ」は、「やまがた性暴力被害者サポートセンター」の別称で、性暴力・性犯罪の相談にワンストップで対応しております)

## 過去9年間のやまがた被害者センター相談受理件数の推移



## 令和3年度 やまがた性暴力被害者サポートセンターの相談受理状況

※令和3年4月1日～令和4年3月31日に受理した「356件」の相談内容



# 令和3年度決算報告

## 【令和3年度活動決算】

### 収入の部

科目	決算額(円)	摘要
会費	2,764,000	正会員、賛助会員会費
寄付金	7,429,063	各種寄付
委託料	5,192,290	県べにサポ委託料
補助金	4,117,565	県補助金、市町村負担金等
助成金	2,630,000	日本財団助成
雑収入	37	受取利息
合計	22,132,955	

### 寄付金内訳

科目	決算額(円)
警察職員寄付金	2,352,513
ワンクリック募金	396,000
協力自販機寄付金	3,080,550
赤い羽根共同募金	300,000
一般寄付、募金箱	1,300,000
合計	7,429,063

### 支出の部

科目	決算額(円)
相談活動事業費	2,291,750
直接支援事業費	224,414
広報啓発活動事業費	2,303,153
相談員養成・育成事業費	541,996
調査研究事業費	717,951
県・委託事業費	5,360,454
日本財団助成事業費	2,733,950
管理費・事務費	6,866,675
支出合計	21,040,343



# やまがた被害者支援センター活動報告

## 支援活動員だより

やまがた被害者支援センターで電話や面接での相談および直接的支援に当たっている支援相談員の方々の思いや活動を紹介します。

### 支援相談員の スキルアップへの挑戦



私は2014年から支援員として活動しております。皆さんは、「SANE（セイン）」という言葉を知っていますか？あまり馴染みがないかと思います。『SANE』とは、性暴力を受けた被害者からの相談、看護ケア、そして心理支援など専門的なケアを提供する看護師のことで、私が「SANE」について知ったのは、犯罪被害者支援『県民のつどい2017』の基調講演で山本潤さん（一般社団法人Spring初代・代表理事）が講師として招かれたことです。基調講演を聞く前に山本潤さんの著書「13歳、『私』をなくした私」を読みました。

山本さんは、13歳のときから20歳までの7年間にわたり、実の父親から性暴力を受ける被害に遭われました。さまざまなトラウマ症状に苦しみ約30年にわたる葛藤と再生の記録でした。そして泣き寝入りしない社会を目指し、性暴力被害の実情や支援の在り方について被害者の視点で講演活動をされています。また、山本さんは看護師・保健師・SANE（性暴力被害者支援看護師）として勤務されている方でした。私も看護師の臨床経験があり講演をお聞きした後、『SANE』について深く学びたいと思い、東京（NPO女性の安全と健康のための支援教育センター）と秋田大学で養成講座を受講しました。それまで性暴力に触れることも少なく性被害に遭った人を、どうケアするかなどわかりませんでした。研修では、医療・司法・行政・教育など多岐にわたる講義を受け、実技は看護学生時代では学ばなかった内容に衝撃を覚えました。同時に被害者の傷つきや困難、被害者が何を求めているかを学べたことは本当に貴重でした。さらに二次被害につながるような自分自身の性暴力に関する誤解や偏見を見つめ直す機会にもなりました。被害者の意思を尊重し、当事者の視点を大切にして支援を行う姿勢はとても重要です。その後、お陰様で無事に認定試験に合格して『SANE』の登録ができました。医療機関でない被害者支援センターで『SANE』として出来ることは限られているかもしれませんが、しかし、急性期の相談や病院付添い支援など、その知識を活用できればと考えております。また周りの方々のご指導を受け、学び続けながらこれからもより良い支援につながるよう努力していきたいと思っております。

## 相談員のスキルアップを図る研修の開催

犯罪被害者の相談・支援業務を担う人材の育成を図るため、北海道・東北ブロックの上半期研修は当センターが当番県となり7月21日と22日の両日、オンラインで開催されました。受講者は、被害者電話相談の特殊性や、直接支援の実際など多岐にわたるプログラムについて学び、質の向上につながる有意義な研修となりました。

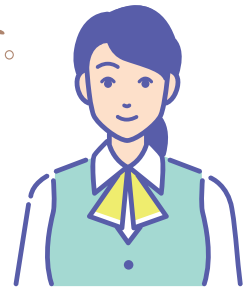


## センターの活動を支えてくださる皆様に心から感謝申し上げます。

寄付金および賛助会費として、財政支援をいただいた方を、謹んでご報告申し上げます。

(令和3年4月1日から令和4年7月31日)

ご協力いただいた賛助会費・寄付金は、犯罪や事故に遭われた被害者等を支援する諸活動に活用させていただきます。誠にありがとうございました。



### <賛助会員 個人> (敬称略)

會田庸二郎	井田 守男	大橋 長秋	菊地 武夫	酒井 博	菅井 精	長南 明重	花見 彰	村岡 朋美
青野 博	板垣 恵子	大御 均	菊池 紀久	寒河江幸次	須貝 光雄	土屋 講	早坂 松一	村越 友子
青柳 初夫	板垣 隆	大宮 光也	岸井 宏樹	寒河江孝男	菅野 健吉	土屋 哲郎	早坂 寛子	森谷 裕一
青柳 り奈	板垣 幸江	大森 典夫	草苅 隆志	佐川 太吉	菅原 和夫	寺崎 智代	林 由美子	諸橋 哲郎
青山 明弘	伊藤 俊夫	小川 聡美	楠 二男	笹原 清彦	菅原 博子	戸石 健二	原田 暁子	八重樫勝昭
青山 永策	伊藤 知雄	小川 るみ	工藤 英雄	佐藤 攻	鈴木 信幸	富樫 幸吉	原田 伸也	矢作 勝美
青山 均	伊藤 宏	奥山歌代子	黒沼 範子	佐藤 金悦	鈴木 文雄	富樫 芙美	樋口 芳次	山川 孝
秋葉 典子	井上 敬三	小座間一夫	桑山 幸子	佐藤 重勝	鈴木 政明	徳宮 龍男	日野 晃彰	山口登喜雄
安達喜美子	井上 聡子	押井 邦昭	剣持 猛雄	佐藤 大	鈴木 力夫	長岡 静子	深瀬 邦彦	山田 登
阿彦 忠之	今川 昌幸	小田 悟志	小泉 信三	佐藤 誠	鈴木 隆一	長岡 敏明	舟山 文雄	山村 祐悟
阿部 和行	漆山 茂	尾田 滋	小関 和栄	佐藤美智雄	清野彦四郎	中島 勲司	星 美喜	横尾 昭男
阿部 憲史	漆山 善則	小野寺 久	小玉 隆子	佐藤 光子	相馬 諭	中島 信勝	堀田 いく	横尾智三郎
阿部ひとみ	遠藤 和彦	加賀山隆士	小林 裕	佐藤 泰夫	平 ふみ奈	長瀬 純男	堀江マサ子	横尾 量助
阿部 正希	遠藤 竹雄	片桐 政隆	小林 邦憲	佐藤 良江	高木 信博	長瀬 恒夫	本田香奈子	横山 礼子
阿部 昌子	遠藤 利馬	加藤 秀一	小林 洋一	佐釜 敏夫	高橋誠一郎	成沢 一彦	本間 等	吉田美智子
阿部 喜彦	遠藤 光正	加藤 玲子	小山 政弘	信夫 鈴子	高橋 洋明	新野ふみ子	本間 文夫	和田 英光
五十嵐敏子	遠藤 吉寛	金内 善治	近藤 寛治	柴田美恵子	高橋 喜八	二戸 昭夫	松尾あさ子	渡部 京子
五十嵐幸弘	及川 善大	金澤 和子	齋藤 和也	島津 仁道	高橋 富蔵	仁藤ミエ子	松尾 正城	渡部 順子
石倉 隆	大川 隆雄	金澤 浩二	齋藤順二郎	白田 一志	高山 初子	信田 信一	眞見 静子	渡辺 徳夫
石栗 義秋	大久保義雄	金杉 浩	齋藤善太郎	白旗 伸一	滝口 清志	羽角 巖	三塚 勝男	渡部 幸雄
石山 行雄	太田 純子	金森 義弘	齋藤 浩暉	新宮奈奈子	武田 朋泰	長谷川啓子	水戸 豊	
伊勢 和正	大竹 孝幸	菅野 雅博	三枝 和也	新林 正行	田村 留勝	長谷川 法	峯田 典明	

### <寄付 個人> (敬称略)

安孫子英彦	井上 聡子	黒澤 洋介	齋藤由美子	鈴木 光弘	林 淑子	三塚 勝男	吉田 敏雄
石栗 義秋	遠藤 凉一	小山 和夫	佐藤 健二	高橋 洋明	堀川 隆志	宮崎 信三	渡邊 理香
伊藤 浩幸	金杉 浩	齋藤 充宏	穴戸 義明	萩原さち子	榎野 和男	村山恵美子	

### <寄付 法人・団体> (敬称略)

イオン東北株式会社	株式会社NTT東日本サービス山形116	庄内町被害者支援連絡協議会	東根市更生保護女性会
一般社団法人山形県医師会	株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー山形	税理士法人黒沼共同会計事務所	山形地区安全運転管理者協議会
尾花沢地区安全運転管理者協議会	株式会社とみひろ	天童市更生保護女性会	大和建設運輸株式会社
尾花沢ロータリークラブ	上山地区警察官友の会	天童地区保護司会	八幡駐在所連絡会
株式会社NTT東日本	国際ソロプチミスト天童	南陽地区被害者支援連絡会	米沢警察署駅前交番連絡協議会

### <寄付 設置募金箱> (市町村民からのご寄附)

大蔵村役場住民税務課	戸沢村役場住民税務課	真室川町役場総務課	最上町町民税務課
金山町役場総務課	東根市役所	道の駅むらやま	
鮭川村役場	舟形町総務課	村山市役所	
新庄市役所環境課	マツキドライブインスクール村山校	最上総合支庁総務課	

### <正会員 法人・団体> (敬称略)

山形県商工会連合会	株式会社エフエム山形	一般社団法人山形県銀行協会
山形県商工会議所連合会	株式会社トヨタレンタリース山形	山形県警友会連合会
一般社団法人山形県経営者協会	山形経済同友会	

## <賛助会員 法人・団体> (敬称略・五十音順)

### 【山形市】

(一社)山形県安全運転管理者協会  
 A L S O K 山 形 (株)  
 (一財)山形県警察職員互助会  
 (一社)日本自動車販売協会連合会 山形県支部  
 (一社)山形県医師会  
 (一社)山形県自家用自動車協会  
 (一社)山形県自動車整備振興会  
 遠 藤 商 事 (株)  
 (株)市村工務店  
 (株)井出コンタクトレンズ  
 (株)エム・エス・アイ  
 (株)クラフト  
 (株)ジョインセモノー パレスグランドール  
 (株)セロン東北  
 (株)たいよう共済 山形支店  
 (株)田村測量設計事務所  
 (株)塚田会計事務所  
 (株)でん六  
 (株)とみひろ  
 (株)ハイテックシステム  
 (株)ぶどうの木  
 (株)ベガスベガス  
 (株)本間利雄設計事務所  
 (株)メコム  
 (株)山形県自動車販売店リサイクルセンター  
 (株)山形新聞社  
 (株)山形テレビ  
 (株)山形ビルサービス  
 (株)ヤマコー  
 (株)ヤマザワ  
 (株)ワイム  
 小白川建設(株)  
 小松建設(株)  
 (医)公德会若宮病院  
 (医)二本松会山形さくら町病院  
 新和産業(株)  
 住友生命保険相互会社 山形支社  
 税理士法人黒沼共同会計事務所  
 全国共済農業協同組合連合会山形県本部  
 全国農業協同組合連合会山形県本部  
 損害保険ジャパン(株)  
 東京海上日動火災保険(株)  
 東北医療機器(株)

東北電力(株)山形支店  
 と き わ 商 事 (有)  
 トヨタカーラ山形(株)  
 日本地下水開発(株)  
 東日本電信電話(株)山形支店  
 東日本旅客鉄道(株)山形支店  
 藤 庄 印 刷 (株)  
 弁護士法人武田法律事務所  
 山形いすゞ自動車(株)  
 山形ガス(株)  
 山形警備保障(株)  
 山形県軽自動車協会  
 山形ダイハツ販売(株)  
 山形県農業協同組合中央会  
 山形県ハイヤー・タクシー協会  
 山形県ハイヤー協会  
 山形県弁護士会  
 山形県民共済生活協同組合  
 山形県遊技業協同組合  
 山形県立保健医療大学  
 山形酸素(株)  
 山形事務器販売(株)  
 山形信用金庫  
 山形大学医師会  
 山形農業協同組合  
 山形パナソニック(株)  
 山形放送(株)  
 ヤマケンビルテックサービス(株)  
**【中山町】**  
 中山ロータリークラブ  
**【上山市】**  
 (一社)上山市医師会  
 羽陽建設(株)  
 (医)二本松会上山病院  
 (宗)称念寺  
**【天童市】**  
 (一財)山形県交通安全協会  
 (一社)天童市東村山郡医師会  
 (医)丹心会吉岡病院  
 (医)斗南会秋野病院  
 エムテックスマツムラ(株)  
 カクシメ運送(株)  
 日新製薬(株)  
 丸和熱処理(株)

山形ゾントクラブ  
**【寒河江市】**  
 大富建設(株)  
 (株)寒河江測量設計事務所  
 國井建設(株)  
 角田商事(株)  
 日東ベスト(株)  
**【東根市】**  
 (株)山本製作所  
 国際ソロプチミスト東根  
**【河北町】**  
 (医)つかさ会齊藤医院  
 上村石油(株)  
 勝川建設(株)  
 (株)トウシヨ  
 升川建設(株)  
**【大江町】**  
 (有)藤島屋商店  
**【西川町】**  
 (有)玉貴  
**【村山市】**  
 (一社)北村山地区医師会  
 小野内科胃腸科クリニック  
 (株)ヤマガタ共同  
 河西建設(株)  
**【尾花沢市】**  
 (有)徳宮商事  
 (有)はながさバス  
**【新庄市】**  
 (一社)新庄市最上郡医師会  
 (医)三條医院  
 さいほく鉄工(株)  
 (宗)善龍寺  
 新庄ロータリークラブ  
**【最上町】**  
 (医)永井医院  
**【酒田市】**  
 (医)太田医院いちごレディースクリニック  
 (株)鳥海学園  
 (株)平尾工務店  
 酒田塗装(株)  
 長島整形外科クリニック  
 前田製管(株)  
 山田塗装(株)

(有)齋藤組  
**【庄内町】**  
 (株)大商金山牧場  
 関東自動車興業(株)  
**【鶴岡市】**  
 (一社)鶴岡地区医師会  
 (医)いとうクリニック  
 (医)すこやかレディースクリニック  
 (株)オランダ  
 (株)長南牛肉店  
 (株)佐藤組  
 (株)マルゴ  
 菅原建設(株)  
**【長井市】**  
 (医)杏山会吉川記念病院  
 (医)団仁陽会仁陽堂外田医院  
 (株)サンノー企画印刷  
 山形中央信用組合  
**【南陽市】**  
 (一社)南陽市東置賜郡医師会  
 置賜ツバメ石油(株)  
 (株)三和  
 (株)三幸ソーイング  
 (株)武蔵屋  
 (医)公德会佐藤病院  
 住友生命保険相互会社南陽支部  
 時計・宝石・メガネの大友  
**【高畠町】**  
 (株)高畠ワイナリー  
 羽山総合建設(株)  
**【米沢市】**  
 (一社)米沢市医師会  
 金子建設工業(株)  
 (株)イービーエム  
 (株)三友医療  
 (株)米住建設  
 (宗)普門院  
 東北警備保障(株)  
 米沢合同運送(株)  
**【川西町】**  
 山形おきたま農業協同組合  
**【小国町】**  
 大和建設運輸(株)

### ●山形県警察の各所属 職員一同様

総務企画課	生活安全企画課	鑑識課	警備第二課	尾花沢警察署
広報相談課	地域課	科学捜査研究所	機動隊	新庄警察署
留置管理課	通信指令課	機動捜査隊	警察学校	庄内警察署
会計課	人身安全少年課	交通企画課	山形県警察学校初任科生	酒田警察署
施設装備課	生活環境課	交通指導課	山形県情報通信部	鶴岡警察署
警務課	サイバー犯罪対策課	交通規制課	山形警察署	長井警察署
人材育成課	刑事企画課	運転免許課	上山警察署	小国警察署
監察課	捜査第一課	交通機動隊	天童警察署	南陽警察署
厚生課	捜査第二課	高速道路交通警察隊	寒河江警察署	米沢警察署
情報管理課	組織犯罪対策課	警備第一課	村山警察署	





## 善意のご寄付をいただいた事業所様の紹介

### 「小国町の大和建设運輸株式会社」様

大和建设運輸と同社従業員の皆様からの募金に加え、山和建设・小野中村ホールディングス(現ユニコンホールディングス)の小山和夫会長の善意として4月8日、多額のご寄付をいただきました。そのほかに、当センターへの寄付金付き自動販売機設置のご協力がありました。ありがとうございました。



### 「米沢警察署駅前交番連絡協議会」様

米沢警察署駅前交番管内の地域住民でつくる協議会の皆様からのご寄付を6月8日、米沢警察署で行われた贈呈式でいただきました。県内の交番連絡協議会から当センターへのご寄付は、初めてであり大変貴重な善意と受け止め、大切に使用させていただきます。



### 「株式会社とみひろ」様

呉服販売の老舗「とみひろ」様から6月23日、高額のご寄付をいただきました。贈呈式で、富田浩志社長から当センターの黒澤理事長に交付されました。同社からのご寄付は3回目となります。貴重な財源として支援活動に有効活用させていただきます。ありがとうございました。



### 「菁莪のまちづくり運営協議会」様

設置事業者の「菁莪のまちづくり運営協議会」様と自動販売機設置業者「株式会社佐藤総業」様のご協力で寄付金付き自販機が7月14日、庄内町余目第二まちづくりセンターに設置されました。公的施設での設置は庄内地区で初(警察関連除く)であり、締結当日、町役場職員も出席していただき、感謝を申し上げます。



## 賛助会員への加入や各種ご支援・ご協力をお願いします

### 賛助会員会費

◎個人会員……1口 **2,000円** (口数に制限はありません) ◎法人・団体会員……1口 **10,000円** (口数に制限はありません)

ご入会の方法 / 郵便振り込みか銀行口座へのご入金をご利用ください。

詳しくは当センター事務局(電話 **023-642-3571**)にお問い合わせください。

## ◆ 編集後記 ◆

私が最近読んだ本に、キートン山田著の「第3の人生は、後半に続く」があります。アニメ「ちびまる子ちゃん」のナレーターを長年務め、声優を引退した山田氏の半生記。「まる子」の名せりふ「後半へ続く」は、アドリブで言ったのが採用になった裏話を紹介。さらに生まれてすぐに養子に出されたが養家が貧しく一家心中をしかけたこと、夢をつかんだ矢先の借金地獄、泥沼離婚と32歳年下の妻と再婚の人生等を振り返っている。その上で、ドドロロした過去も失敗も全て乗り越え、遠回りしたことも含めて「人生のスパイス」と思えば、自分にとって必要不可欠だったと笑って話せるとして、「今が最高」と言い切り第三の人生へと漕ぎ出した生き方は、シニア世代の自分に大いに参考となりました。

今年の「県民のつどい」は、新型コロナウイルスの感染状況を見据えてですが、11月22日(火曜日)を予定しております。

専務理事 柴崎 和也

## やまがた被害者支援センター だより 第33号

令和4年8月発行

編集・発行

山形県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体

### 公益社団法人 やまがた被害者支援センター

〒990-0031

山形市十日町一丁目6-6 山形県保健福祉センター内

TEL 023-642-3571 FAX 023-676-5630

(土・日・祝日・年末年始は休みとなります。)

ホームページアドレス <https://www.yvsc.jp>

